

2019年6月9日

投手の準備投球に関する規則改正の取り扱いについて

公益財団法人全日本大学野球連盟審判部会
部会長 中本 尚

投手の準備投球に関する規則を改正しましたが、その取り扱いについては下記の通りとしますので、周知徹底をお願いします。

記

1. 「社会人及び大学野球における試合のスピードアップに関する特別規則」の改正（2019年6月9日施行）

（1）改正事項

1. インニング間の時間は2分10秒以内とし、その計時は次のときに始まり、球審がプレイを宣告したときに終わる。
 - （1）1回の表は、先発投手が球審からボールを受け取ったとき。
 - （2）攻守交代の場合は、第3アウトが成立したとき。
 - （3）インニングの途中で投手が交代する場合は、守備側の監督が球審に交代を通告したとき。
2. 投手の「準備投球」は公認野球規則 5.07 (b) に準ずる。ただし、上記1の計時が開始されてから1分40秒が経過したら、1球だけ投球することができる。また、試合に出場している投手のベンチ横及びブルペン（室内を含む）でのキャッチボールを禁止する。

（2）解釈・取り扱い

- インニング間の制限時間の計時は、二塁塁審が行う。
- グラウンド整備が行われた場合の制限時間の計時は、整備が終了した後、球審がグラウンドに出て守備側の選手に守備位置に向かうことを促したときに開始する。
- 球審は、インニングの途中で守備側の監督から投手交代の通告を受けたとき、二塁塁審にその通告があったことをジェスチャーで知らせる。
- 球審は、1分40秒が経過したら投手に“**One more pitch!**”を通告し、すみやかに最後の準備投球を行わせる。そして、次打者席にいる打者には、打者席へ向かうよう指示する。（それまでは次打者席にとどまらせる（世界標準のマナー）。）
- インニングの途中で投手が交代した場合、捕手は、最後の準備投球を受けた後にマウンドへ行くことはできるが、「2分10秒」の中に含むものとし、球審が“**Play!**”を宣告するまでに定位置についていなければならない。

- 1回の表の攻撃中、先攻チームの先発投手は、ブルペンで投球練習をすることができる。

2. 捕手を立たせたままの準備投球の禁止

- 「準備投球のとき、投手は投手板から投球し、捕手は座って投球を受けること」としたので、これを遵守させる。(大学野球の用具ならびにマナーに関する規則)

以上